

旅先で災害に遭ったら・・・

伊夫伎欽子（世田谷区）

私は2月22日、17日間のNZ南島を個人旅行中、最終地の北島オークランドへ移動する前日にクライストチャーチであの大地震に遭遇しました。

あの美しい花のまちで大聖堂が倒壊、多くの未来ある日本人留学生の犠牲、ホテルに残した私の全ての荷物などなど、複雑な想いを残して帰国しました。そして直後の3月11日、未曾有の東北大地震、どうしようもない天災とはいえ、神の摂理か？人間のご都合で自然とのバランスを崩した結果、地球が悲鳴を上げているのか？と思わざるをえません。

地震は天災です。それを予防しきれない部分は人災、そして運も手伝います。今回それを痛切に感じました。最近ネットですぐに予約や旅程が組めるようになり個人旅行が増えています。旅行会社の団体旅行の危機管理は添乗員の仕事です。個人旅行は全て自己管理であり、責任です。皆さまは旅を熟知されておられると思いますが、いま一度再確認と認識を新たに個人旅行に役立つことができればと下記にまとめてみました。

① パスポートは必ず携帯する

地震発生時、私は花の美しい有名なモナベール庭園を優雅に？散策していました。



モナベール庭園

突然、地面が前後左右に大きく揺れ思わず坐りこみましたが、いまだ事の重大さを把握しておらず、庭園を出て我にかえりました。道路の下り車線は中心部からの脱出者の車で大渋滞、上りのバスは全てストップ、やむなく徒歩で液化化現象のひどい道を迂回しながら広大なハグレー公園を斜めに突き抜け、大聖堂の真裏

にある宿泊ホテルに向かいましたが市の中心部は完全封鎖、ポリスがバリケードし、余震の危険から、いかなる理由でも一歩も入れません。荷物はすべて部屋にお預けです。もしパスポートを残していたら飛行機にも乗れず、帰国にも手間取ったことでしょう。



郊外の惨状（立ち入り禁止外）

② クレジットカードは年会費は少し高くても、しっかりしたもの1枚は持つ

緊急時には停電、また、暴動の予防のためかカードが使えずコピーを残して後払いになる場合があります。その際、よいカードが身元保証になり、信用度が高くなります。

③ カード社会とはいえ現金も予備する

当夜はホテルに帰れないので郊外のモーテルに泊まりましたが、緊急時にはローカルになればなるほどカードは使えません。②と同じ理由でスーパーもガソリンスタンドもATMもクローズです。日本円もだめです。私は夜と翌朝のパンを町はずれの小売店でなければのNZドルを大事に使って買いました。

カードの方が為替換算率はよいのですが現地通貨の現金も必ず予備に持ちましょう。

④ 緊急連絡先を滞在地に持つ

パニック時には大使館や領事館に駆け込んでも大して役に立ちません。個人旅行の場合は友人、知人など現地で連絡の取れる人を持たないと動きがとれません。野宿にもなりかねません。今回は夫と2人の個人旅行でしたが幸い移動手段と宿泊は手配会社に頼んであったので、すぐに安否確認の連絡が入り100何軒目かにはやっと確保できたというモーテルの予約と車での送り、翌早朝、飛べるかどうか未確認情報の中、空港までの送り、ホテルにまだ残した荷物の連絡など良心的にこなしてくれ大助かりです。個人旅行の時には一部分だけでも手配旅行にすると安心です。

⑤ 携帯メール

携帯電話はパンクしても携帯メールはつながる確率がずっと高いです。緊急時発生直後は早くつながり、時間の経過とともにつながらなくなります。

⑥ 連泊(No bed-making)の場合でも部屋を出るときは荷物をまとめておく

今回の私のように他人の手を借りて荷造りをしてもらう場合、衣類や小物を出したままだとわかりにくく手間取ります。

最後に、運についてですが、当日は充分時間があり、お土産買いと有名なモナベール庭園巡りとどちらを先にするか大変迷いました。寒くなりそうというだけの理由で庭園を優先したのが幸運につながりました。

もし買い物をしていたら惨事の渦中にいたことでしょう。一生分の運を使い果たしました。



地震前日の平和なクライストチャーチ

最近ではクライストチャーチ地震関係の報道はほとんどありません。きっと復興も順調に進んでいることでしょう。しかし、私のホテルはいまだ危険区域でホテルのスタッフでさえ立ち入り禁止の状態が続いているとのこと。

富山から現地入りされたご遺族が無残な現場を見て一縷の望みも断たれたと悲痛な諦めの心境を語られると同時に捜索に対する NZ 関係者の誠実で真摯な態度に感謝の念を話されたのが今も心に暖かく残っています。

広範囲にわたる悲惨な現地の状況、どこから手をつけてよいか気の遠くなるような被害、それにもめげず、立ち上がり始めた東北の方々、人間の強さを見て、平和ボケ気味の私達も身の引き締まる思いです。

まだまだ原子炉問題など難問山積ですが被災者の方々の身心の癒しに少しでもお手伝いできたらと思うこの頃です。

震災前の素晴らしい景観を見せていた大聖堂



倒壊前の大聖堂



聖堂内の美しいフラワーショー（倒壊前日）